

令和4年度第8回土別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和4年10月7日（金）午後1時32分～午後3時20分
2. 会 場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章
委 員 加 藤 洋 之 合宿の里・スポーツ推進課長
委 員 多 田 千 鶴 坂 本 英 樹
社会教育課長 武 山 鉄 也
- 欠席 山 田 敦 久 委員

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

前回の会議から約1ヵ月経過したところだが、この間、学校で起きた事故等に関わる課題などが明らかになった。事故の発生を校長が知らない状況は問題であり、校長会議において報告や情報共有をはじめ、各校に気を引き締めてもらいたいとの話をした。

夏からのスポーツイベントは、9月17日に市民クロスカントリー大会、19日にジュニアサマーキャンプ交流大会を開催したところであり、委員の皆さんにもご足労いただいた。市民クロスカントリー大会は休日の開催だったが、自校の児童生徒が頑張っている様子を多くの教職員が見に来ている学校と誰も来ていない学校の違いが気になった。

中学校全校で学校祭が行われ、上士別中と朝日中の様子を見てきたが、それぞれ特徴のあるプログラムで、気持ちが入ったステージだった。上士別中の3年生は、コロナ禍のため入学以来初めてとなる全校合唱をマスクを着用して行ったほか、朝日中では3年生の生徒と担任、副担任が加わったダンスを披露していた。先生たちの指導力もあつてのことと思うが、非常にレベルの高さを感じた。

今年の市民総合文化祭については、中央、多寄、朝日の各地区で芸能発表が行われる。

北ひびき農協から、給食用食材として、米、玉ねぎ、ジャガイモ、カボチャ、牛肉を提供していただいた。また、東高校ではフードバンク事業として、道の駅と教育委員会で野菜を販売した。

鷹栖養護学校では、学校公開の催しがあり、初めて参加してきた。子どもたちの様子や指導の内容、寄宿舎の状況などを見学させていただいたが、まさに百聞は一見に如かずであった。学校の通学区域としては旭川市の北側と上川北部のほか留萌地区までカバーしており、本市から入学した子もいるほか、年度途中から行く生徒もいるとのこと。

教職員人事に関する「人事推進会議」がオンラインで開催され、人事異動に関する様々な話題が話し合われた。近年は教員を志望する人が減っており、管理職の成り手も減少しているが、本市では小中学校と高校合わせて8名の教頭が校長採用をめざしているところである。

新型コロナウイルス感染症については、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されるところだが、基本的な感染症対策を継続し乗り切っていきたい。

本日もよろしく願います。

2 事業等の進行状況について

○三上部長

9月13日から14日にかけて市議会第3回定例会一般質問が行われた。中山議員から「通学路のスクールゾーン表示」について、石川議員から「生涯学習に特化したフェイスブックの活用と社会教育事業の実施状況」について、大西議員から「教職員住宅の現状とあり方」について、奥山議員から「部活動の地域移行」について、湊議員から「合宿の里・合宿の聖地創造に向けた魅力発信」について質問があった。

9月22日には定例校長会議、26日には定例教頭会議が開催され、校内で職員間のコミュニケーションを積極的にとることなどを各校に指示した。10月1日には東高校の授業参観があったほか、3日には北ひびき農協から給食食材を贈呈いただいた。10月4日には年度初めに設定した部の目標について、中間報告を行う戦略レビューが開催された。10月5日は東高校のフードバンク事業が行われた。10月6日には北教組の全道キャラバンが来市され、子どもの「貧困」・「教育格差」解消のための教育予算の大幅拡充や、教職員の長時間労働の是正などについて要請を受けた。

○須藤課長

前回の会議後、各中学校では予定どおり学校祭が開催された。9月13日には学校職員を対象としたICT端末の活用についての研修「スキルアップセミナー」を開催した。また、9月21日には上士別小学校において「一日防災学校」を実施したほか、士別小学校では福島県川内村の川内小中学園とのオンライン交流を実施した。10月6日には北教組の全道キャラバンとして役員など4名が来庁され、教職員の働き方改革の推進などの要請を受けた。

○武山課長

9月24日に土曜子ども文化村職業体験館として「めん羊牧場見学」を実施し、今年度予定していた6回を終了した。文化体験館、ふるさと自然歴史体験館は10月以降も開催する。博物館では地域民具についての講座を開催し、昔はどのように使用していたか、後世にどのように伝え保存管理していくかを中村学芸員が説明する。

○坂本課長

9月12日には上士別小と糸魚小の3・4年生、合計20人を対象としたスポーツ能力向上事業を実施した。今回は中国電力チームに協力いただき、走り方を学んだ。市内全ての小学校で実施し、ホクレンや日本郵政グループ、ダイハツにも協力いただいた。

9月27日には士別翔雲高校ウエイトリフティング部3年の大崎柊哉くんが全国大会出場奨励金を授与した。インターハイでは惜しくも準優勝に終わったなか、集大成として栃木県で開催される国体での活躍を期待している。

10月2日にはトヨタ自動車士別試験場内を歩く健康ウォーキングが開催され、90人ほどが参加した。

3 議事について

○中峰教育長 進行

議案第21号 「士別市児童生徒各種検定受験料助成要項」について説明を求める。

○須藤課長

本年度から英検、漢検、数検を受験する小中学生に対し、受験料の一部を補助するものである。助成

方法の決定などに時間を要し、このタイミングからの実施となるが、4月以降に受験した児童生徒についても補助対象とする。基本的には所属している学校を通じて申請してもらうが、学校以外の会場で受験した場合などは、学校教育課に直接申請してもらうこととなる。

○中峰教育長

早急に制度化する考えであったが、助成する金額の割に振込手数料が高額になることなどの課題あり、実施までに時間を要してきた。公費助成する以上、公金ルールに則った対応が必要であり、図書カードを渡すことも考えたが、当面は保護者の口座に振込むこととした。サフォークポイントを付与することも検討したが、全員が所有しているものではないため、公平性の観点から現時点では難しい状況にある。来年度に向け、引き続きより良い方法を検討していく

○馬場職務代理者

図書カードを渡す方法が良いのではないかと。

○加藤委員

読書の推進につながることを期待できる。同一年度に申請できるのは1回だけというのはいかがか。例えば昇級し、年度内に次の級を受験する場合は対象にするなど、やる気のある子には相応の支援をしてあげてはどうか。

○多田委員

マイナンバーのようにポイントが付与できれば良いと思う。

○中峰教育長

部活動に対する助成も同様だが、やっている子とやっていない子の公平性も考えなければならない。

○加藤委員

人を育てようと思うなら、お金をかけなければ伸びない。

○中峰教育長

自発的に行うというところも大事である。

○加藤委員

自分の将来につながることでとしっかり理解している子どももいる。

○中峰教育長

思い切って受験料全額を助成することも一つの方法である、当面、他の自治体の状況も参考に検討していきたい。

○馬場職務代理者

図書カード以外にも学習に関係するものなら良いのではないかと。

○中峰教育長

要項について若干の文言整理をする可能性があるが、骨子としては、この形で進めてよろしいか。
(全員了承)

4 その他

◇予算決算常任委員会（決算審査）における通告について

○三上部長

全体で49件の質問が通告され、教育委員会関係では5名の委員から質問が提出された。
(別紙資料に基づき説明)

◇市内小学校の学芸会について

◇士別市における全国学力・学習状況調査の結果等の公表予定について

○須藤課長

全国学力・学習状況調査の結果については、石橋アドバイザーが結果を分析しているところであり、校長会の確認を経て、11月頃を目途に教育委員会会議で報告する予定である。その後、新聞報道やホームページを通じて公表することとなる。

◇新型コロナウイルス感染症について

○三上部長

北海道でも9月26日から新型コロナウイルスの全数把握を見直している。抗原検査キットを使用して陽性との結果がでた場合は、これまでのように再度PCR検査を行い陽性確認する必要がなくなった。本市でも新型コロナウイルス本部会議を開催し、取扱いについて見直しを行っている。これまで市の関連施設等で陽性者が出た場合は、ホームページや「しべつ暮らしナビ」で公表してきたが、今後は、施設の閉鎖を伴うケースなど市民サービスに関係する場合を除き、原則公表しないものとする。小中学校などで学級閉鎖する場合も該当する家庭にのみ連絡することとした。

また、家庭内に濃厚接触者がいる「二次濃厚接触者」の取扱いについても、濃厚接触者以外は通勤・通学して構わないこととしたが、給食センターではこれまでどおりの取扱いとする。

○中峰教育長

ワクチン接種後に何らかの副反応が出ることはあるが、体に合わなかったため重い副反応が出た例もあると聞いた。子どもたちのワクチン接種も進んでいないようで、二の足を踏んでいる状況と思っている。

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

午後3時20分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中 峰 寿 彰

会議録調整者 須 藤 友 章